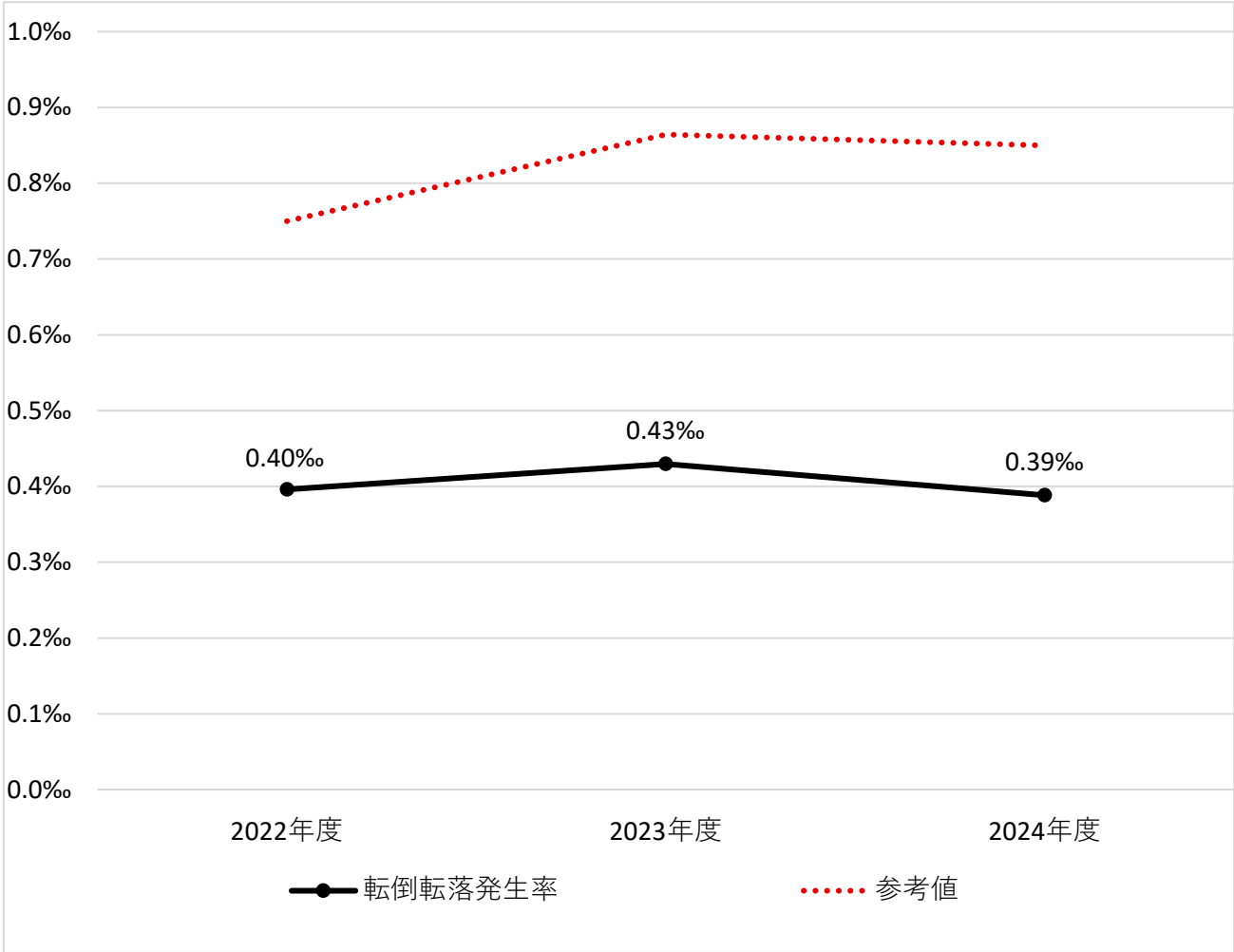


入院患者の転倒・転落発生率（損傷レベル2以上）



分子	入院中の患者に発生した損傷レベル2以上の転倒・転落件数
分母	入院患者延べ数（人日）
参考値	QIプロジェクト参加施設の平均値
説明	<div><div>[指標の意義]</div><div>入院中は身体的状況、薬剤による影響、生活環境の変化などにより転倒・転落のリスクが高まります。転倒・転落の発生は患者の転帰に悪影響を及ぼします。転倒・転落発生率を継続的にモニタリングし、その傾向を把握することで転倒・転落予防に対する取り組みの効果が確認できます。</div><div>[結果]</div><div>2022年度は0.40%、2023年度は0.43%とやや上昇したものの、2024年度には0.39%と再び減少しました。各年度とも実績値は参考値を大きく下回っており、院内の安全管理が全国平均より優れている状況が続いています。</div></div>